



Chuman Gakuin Course Guide 2024

「通ってよかった」その一言のために。

小4～小6 初等部

公立中学進学・高校受験準備

小4～小6 公立中高一貫校対策

県立中等教育・横浜市立・川崎市立附属中対策

中1～中3 中等部

高校受験・内申対策

小1～小6 小学生の能力開発

公立中高一貫校対策・公立中学進学準備

おも 想いをカタチに、形を力に。



COURSE GUIDE 2024 CONTENTS		
■ 大学受験まで見据えた12年指導		P3～P4
■ 全国で認められたプロ教師陣による頭と心と手が動く、こだわりの授業		P5～P6
■ 初等部	・高校受験を見据えた中学校での学びの土台を作ります	P7～P12
■ 公立中高一貫校対策	・小4から段階的に適性検査対応力を育みます	P13～P18
■ 中等部	・希望の進路をかなえる中学3年間6ターム制	P19～P28
■ 能力開発講座	・小1から公立中高一貫校受験につながる基礎学力養成	P29～P30



これまで、これからも、学力を以って社会に貢献する人材の育成

1954年の創立以来、教育を取り巻く様々な環境変化に迅速かつ革新的に取り組んできた中萬学院は2024年4月に創立70周年を迎えます。これまで急速なグローバル化の進行や大学入試改革や英語教育改革といった戦後最大級の変化の中でも、生徒の学習意欲を最大限に引き出し志望校合格へと導く学習指導とともに、その先の未来も目標をもって学び続けられる力を育んできました。これからも子どもたちを本気で支える教師による「集中・活気・真剣」の息づく授業で、高い学力と強い意志、夢や目標をカタチにできる確かな力をつけるべく、一人ひとりしっかりと向き合い続けます。

大学受験まで見据えた12年指導で力強く「学ぶ力」を育みます

大学受験までの道のりを長期的な視野でとらえ、中萬学院は小学生から高校生までの12年指導を行っています。ただ教科知識を増やすだけでなく、公立中高一貫校受験や高校受験、大学受験でも必要となる高度な思考力や課題解決力を高めるために小1から将来を見据えた学力の土台づくりを行い、主体的な学習習慣も身につけさせます。

大学受験まで見据えた12年指導



高度な学力、そして「学び続ける力」が身につく確かな仕組み

「学ぶ楽しさ・喜び」を実感しながら、
たくさんの成功体験を積み重ねるために。
意欲的に学習に取り組むことで、さらなる学力向上と
学び続ける姿勢を確立するために。

CG中萬学院では、小学校低学年から中学校3年生までの9年間、
学習方法の習得から学習意欲の向上、学習のおもしろさの発見、
学習目標の達成、学力の向上まで
すべてを総合的にサポートする体制を整えています。



学び続ける力が身につく学習サイクルの確立



筆記型の特色検査突破を中学卒業時の学力到達目標に

神奈川県は、将来の日本や国際社会でリーダーとして活躍できる人材を育成する学校として「学力向上進学重点校」の指定を行っています。2023年10月、指定期間2024年4月～2028年3月の学力向上進学重点校が発表されました。
これまでの5校に新たに横浜緑ヶ丘高校、多摩高校、小田原高校の3校が加わり計8校です。
2020年度入試より、すべての学力向上進学重点校および学力向上進学重点校エントリー校では
共通問題と共通選択問題による特色検査（筆記型の自己表現検査）が実施されており、
CG中萬学院でも中学1年生から授業や特訓を通して対応力を強化していきます。

神奈川県の学力向上進学重点校・エントリー校

横浜翠嵐・柏陽・湘南・厚木・川和・横浜緑ヶ丘・多摩・小田原
光陵・希望ヶ丘・横浜平沼・横須賀・茅ヶ崎北陵・鎌倉・平塚江南・
大和・相模原・横浜国際

※青字は2024年4月からの学力向上進学重点校指定校、黒字は2023年12月時点の同エントリー校



全国で認められたプロ教師陣による



中萬学院はすべての教室ですべての教師がハイクオリティな授業を提供できるよう、多様な研修・育成制度を実践しています。こうした日々の研鑽による成果は、数多くの全国大会などでも認められています。大学受験までを見据えた小中学生の指導で、やる気を引き出し、一人ひとりの成果にこだわります。

初等部指導



四居 亮人

初等部では、各教科で知識はもちろん、思考力や判断力、表現力を高める授業を行います。また、意欲を高めるための学習イベントなど、教科横断型の指導も行い、「学びに向かう力」を伸ばします。

中学校内申対策指導



伊奈 誠

中学校ごとのテスト対策、効果的な学習方法、課題や提出物のやり方など、高内申獲得のための指導を行います。家庭学習の質を上げ、部活等で忙しい中でも、効果的な学習スタイルが身につくよう、万全なサポート体制で臨みます。

公立中高一貫校対策指導



橋本 雅由

公立中高一貫校の適性検査は教科書内容をもとにした科目複合の問題です。対策コースの授業では精選問題で解法のトレーニングを反復し、作業力・表現力を身につけ、合格答案に近づけます。

高校入試進路相談



中山 慈洋

一人ひとりの学力や希望にあわせて、志望校選びの様々なカウンセリングツールを提供していきます。中学生の指導を通して夢や目標を大切に、志望校への合格をサポートしていきます。

玉井式国語的算数教室



深野 ひとみ

玉井式では「分からない」といえることが成長のスタートです。「勉強って楽しい!」を実感できる指導を通して、日常の中で「できた」喜びを経験することで学び続ける力を育みます。

特色検査対策



鈴木 康平

特色検査で求められるのは、主に読解力・判断力・論理的思考力です。中等部Ⅱ期(中1の9月)から分野ごとに指導し、Ⅴ期(中3)の夏期講習からは高難度総合問題に触れて、答案作成力を育成します。

頭と心と手が動く、こだわりの授業

授業力の Upgrade



授業研修

全国で高評価を受けた教科専門委員会を中心に、教科ごとに楽しく効果的な授業を行うための研修を毎月実施しています。



スピーチ大会

子どもたちの心をつかみ、やる気を引き出す授業を行うためには話す力が必要不可欠です。毎年行われるスピーチ大会で話す力を磨いています。

教科知識の Update



入試問題研究会

毎年、全教師が全科目の入試問題研究会から1年をスタートします。思考力・判断力・表現力をより重視する入試問題への対応を授業に生かします。



社内検定

成果の出せる質の高い授業に不可欠な教科知識を年2回の社内検定で確認します。

学校情報の Research



定期テスト問題分析

中学校ごとに過去に出題された問題を分析し、最新の傾向や応用問題にもスピーディーに対応できるよう研究を続けています。



学校別内申対策研究

定期テストの他に、授業や宿題への取り組み、ノートの内容など、効果的な内申対策に向けて中学校ごとに分析を行っています。

生徒の声の Reflection



授業アンケート

毎年、全授業担当教師に対し、「分かりやすさ」「楽しさ」「厳しさ」などについて生徒アンケートを行って、改善努力を続けています。



生徒面談・保護者面談

志望校合格に向けて、目標設定や定期テスト、模試の振り返りと学習計画をアドバイスし、指導への要望をヒアリングします。



一般社団法人全国教育指導者育成協会 日本教育士認定 エキスパート、プロフェッショナル認定を受けた教師が多数在籍しています。

「教師紹介」Webで公開中!



《中等部》最新のICTが学習を強力サポート

さなる式タブレット

CG中萬学院中等部では、さなる式タブレットを活用した連携学習システムを導入。最新のICTツールで塾の授業と家庭学習を連携させ、より効率的・効果的な学習サポートを行うことで、学力向上をかなえます。

忙しい中学生の学習をサポートする高機能コンテンツが満載! 詳しくはホームページまたは別紙ご案内をご覧ください。



中等部在籍生にWindowsタブレットPCを貸与

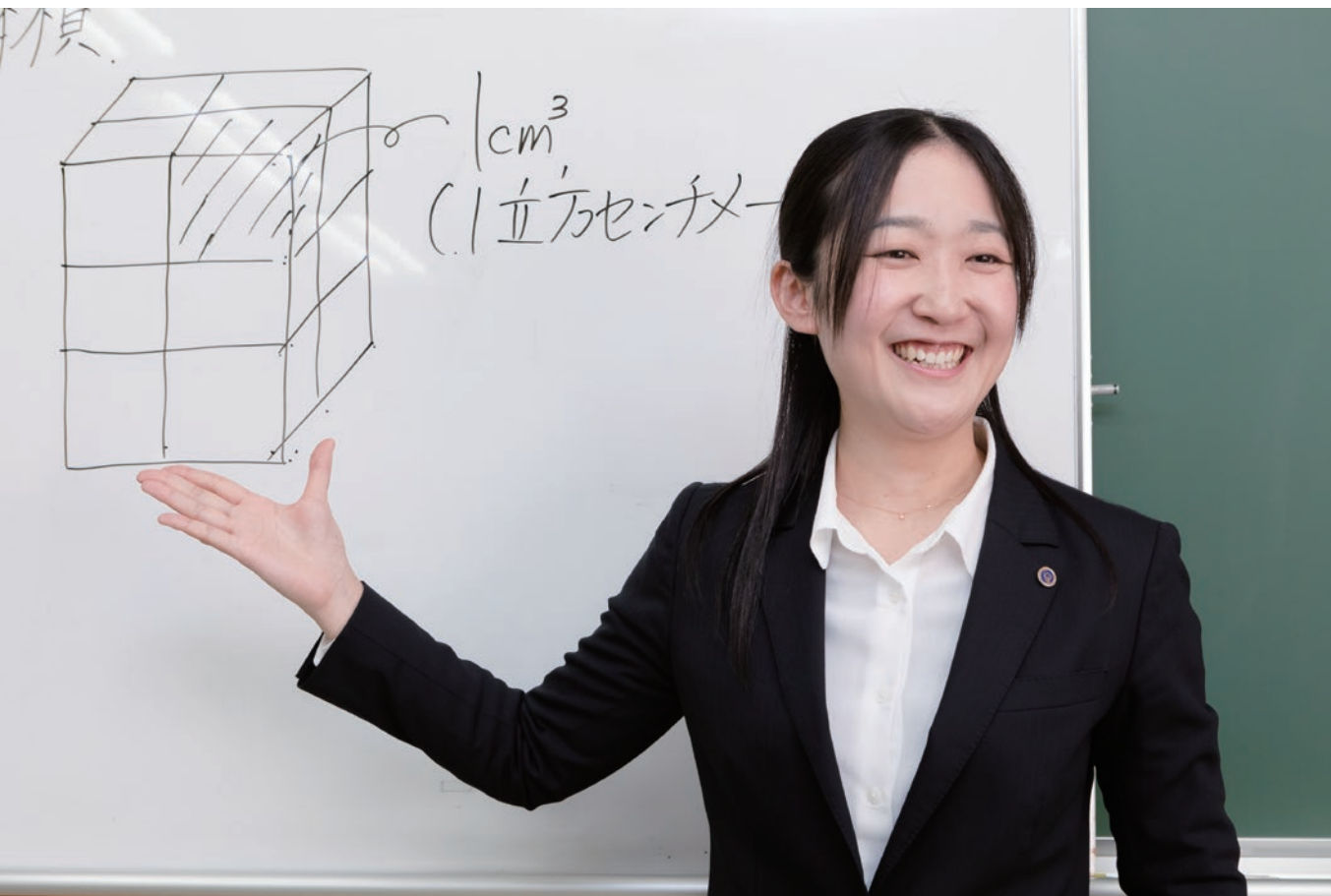
初等部

小4

小5

小6

小学校の指導内容に合わせた教材・学習カリキュラムで先取り学習を行い、学校の授業に臨むことで予習→復習の反復学習が可能に。さらに、特色Jr.で小学生のうちに身につけておきたい学習習慣や目標に向かって努力する姿勢、社会を取り巻く情報の理解と活用方法など、将来まで学び続ける力を身につけます。



初等部

小4からじっくりと教科力・学習力・活用力を養成し、
高校受験に向けて学びの土台を作ります

指導教科 | [小4・小5・小6] 英語・算数・国語・特色Jr.



楽しいから勉強が好きになる。

「今」の学びが中学進学後のアドバンテージに。

学校準拠の英語学習

学校準拠のカリキュラムで「聞く」「話す」だけでなく「読む」「書く」を含む英語4技能をしっかりとトレーニング。英検®取得に必要な学力も身につけます。

個別フォローアップタイム

授業前の15分間、教師が一人ひとりのノートや宿題を個別にチェックし、家庭学習のフォローと定着確認を行います。

ホームワークダイアリー

家庭学習を管理するためのダイアリー帳を配布。自主学習を効果的に進めていけるよう、学習の仕方や時間の使い方も指導します。

定期的な理解度チェック

単元ごとに到達度確認テスト、学期ごとに模試「学力テスト」を実施します。定期的な学力チェックで習熟度を確認します。

個人担任制

生徒・ご家庭に個人担任が付き、情報を共有しながら学力アップ・成績アップに責任を持ってあたります。

各種検定資格取得サポート

英検®・数検・漢検の各種検定資格の目標級取得をサポートします。

英検®は、公益財団法人 日本英語検定協会の登録商標です

多彩な年間学習イベント実施

年間を通じて定期的に生徒参加型の学習イベントを実施します。楽しみながら、様々な力を伸ばします。

●理科実験教室

身のまわりのものを使って楽しい実験を行います。理科的事象への興味・関心を育みます。

●サマーアクティビティプログラム

夏の長期休暇中の特別プログラムとして作文と観察スケッチのコンクールを開催します。

●サマチャレ

学習を楽しく継続できるよう、スタンブラリー形式で夏の長期休暇中の学習状況を見える化します。



●「ロンリ」力を楽しく学ぼう！

カードを使った論理ゲームや、推理力が必要な数当てゲームにチャレンジします。

●知識王決定戦

あらかじめ用意された5教科+αの知識集を一つでも多く覚え、その成果を競い合います。

●「百人一首」を知ろう&あそぼう

歴史ある百人一首の和歌にふれながら、競技かるたで勝つための知識も学びます。

●推理&ひらめきクイズ大会

熟語パズルや法則性を見つける問題にチャレンジし、発想力や頭の回転を鍛えます。

※イベントの内容は一部変更になる場合があります

特色Jr. (P09)



特色Jr.

とくしょく
ジュニア

小4

小5

小6

教科横断型学習で知識・技能・活用力を身につけます

思考力を必要とする適性検査や教科横断型の特色検査を見据えて勉強の仕方を学び、知識・技能・活用力を楽しみながら身につけます。教科学習とは別枠で時間を設け、「学びに向かう力」や「問題解決能力」などを小4からじっくりと養成します。



① 理科・社会の知識学習

小学校の当該学年で学習する理科と社会のポイントを、クイズ形式など取り組みやすい方法で楽しく学習し、中学校の理科・社会につなげます。

単元例

- 月や星の動き(小4理科) ●ごみの処理と利用(小4社会)
- 植物の発芽と成長(小5理科) ●日本の地形と気候(小5社会)
- 水よう液の性質(小6理科) ●江戸時代(小6社会)

② 教養の土台となる多様な知識の習得

生活や社会で役立ついろいろな知識とその活用法を学習し、知識の幅を広げ、コンピテンシー(全体的な資質・能力)を高めます。

講座例

- クラシック音楽とは ●身につく読書の方法を学ぶ
- メディアリテラシー ●絵画の世界
- ノーベル賞授賞者に学ぶ ●食べ物の「旬」を知る

③ 学習法を知る・学習意欲の喚起

勉強の効果的なやり方や、勉強に向かう気持ちのコントロール法などを学び、学習の効果を高めます。

講座例

- ノートの達人になろう ●効果的な時間の使い方
- 成績アップにつながる「生活力」
- 「メンタル」と勉強の関係 ●脳科学による記憶のしくみ

④ 論理的思考力・問題解決能力の向上

パズル系の問題や、与えられた情報をもとにその場で答えを導く演習などを通して、論理的思考力や情報処理力・問題解決力を鍛えます。これらの力を必要とする問題は近年の高校入試でも教科を問わず出題されています。

講座例・問題例

- プログラミング的思考にチャレンジ ●立体パズル問題
- 「フェルミ推定」をやってみよう ●暗号解読問題 ●判断推理問題

講座例

「論理的におよその数を予想する「フェルミ推定」をやってみよう」教材より一部抜粋

【1】「フェルミ推定」とは？

「日本全国にある電柱の数は？」「日本にカバンはいくつあるか」など、限られた時間内に少ない情報でおよその数を計算することを「フェルミ推定」といいます。フェルミ推定でトレーニングすることにより身につくと言われている力はおもに3つあります。

- ①「結論から考える力」【仮説思考力】
- ②「全体から考える力」【フレームワーク思考力】
- ③「単純に考える力」【抽象化思考力】

【2】「フェルミ推定」にチャレンジ！

問題:自分の小学校の児童がもっている「本」の数は、全部で何冊でしょう?次の手順で推理しよう。

- (1)条件を確認しよう
- (2)答えを出すための式を考えよう
- (3)場合分けしよう
- (4)実際に計算してみよう



小4

学ぶ楽しさを実感!「やればできる」を体感!

新たな知識を得る楽しさ、考える楽しさ、それを表現する楽しさを授業で実感させるとともに、家庭学習の習慣を定着させます。



学習のポイント

算数

整数のわり算を習得することにより、整数の計算の仕上げを行います。また、小数と整数のかけ算・わり算と分数の表し方まで数を拡張します。さらに図形の基礎知識を身につけ、面積の概念まで習得しながら、公式を活用できるようにトレーニングします。あわせて「面積の単位」も丁寧に扱います。

■ 検定試験取得のめやす 数検8級

英語

小学校の外国語活動に完全対応。「聞くこと」「話すこと」を中心にトレーニング。難しい表現もチャンツで楽しく学習できます。各レッスンの後半では「読むこと」「書くこと」にもチャレンジし、4技能をバランスよく学習します。

授業回数予定

教科	通塾回数	授業分数・回数
算数	週2回	70分 × 週1回
国語		50分 × 週1回
英語		50分 × 週1回
特色Jr.		30分 × 週1回

国語

小4で習う202の学習指導要領配当漢字を習得します。また、文章中にある語の意味や用い方を学習するとともに、「なぜ?どうして?」と問いかけることで、読解力と記述力向上を目指し、反復トレーニングに重点を置いた指導をします。

■ 検定試験取得のめやす 漢検7級

特色Jr.

理科・社会、さらに教科の枠をこえたいろいろな知識に楽しく触れながら、それらを効率的に身につけるやり方など「学習法」についても学びます。適性検査や特色検査に対応する論理的思考力や教科横断型学力を高める問題にもチャレンジします。小4では基本的な内容を中心に扱います。

実施予定テスト・模試内容

- ▶到達度確認テスト(原則4週毎)
- ▶CG実力判定テスト(年1回)
- ▶公開学力測定テスト(年1回)

※実施内容は変更になる場合があります。

小5

スモールステップで着実に学力アップ！

学力差の広がりやすい重要学年。
効率よく成果を上げる学習方法の体得とともに、
各種コンテスト・検定試験を目標に加えて、学習を充実させます。



📌 学習のポイント

算数

小数の計算を仕上げ、約数・倍数を活用し、分母が異なる分数のたし算と引き算まで学習します。平面図形では角度や面積を学びます。柱体の性質と直方体・立方体の体積など立体図形の基礎知識を学習します。小5で学習した後も、様々な場面で必要となる割合（百分率、歩合）や速さと単位量あたりの大きさを身につけます。

■ 検定試験取得のめやす 数検7級

英語

学習指導要領に完全対応。「聞くこと」「話すこと」からレッスンを開始し、レッスンの後半では「読むこと」「書くこと」をトレーニングします。4技能をフル活用して学校の授業の1ステップ先を学習します。

■ 検定試験取得のめやす 英検® 5級

📌 授業回数予定

教科	通塾回数	授業分数・回数
算数	週2回	70分 × 週1回
国語		50分 × 週1回
英語		50分 × 週1回
特色Jr.		30分 × 週1回

国語

小5で習う193の学習指導要領配当漢字を習得します。また、物語文や説明文、論説文の読解を通じて語彙を増やしていくとともに、教師の問いかけに答えることで、「言葉の意味ときまりに従って文章を読む」という国語の応用力が向上する指導を行います。

■ 検定試験取得のめやす 漢検6級

特色Jr.

理科・社会、さらに教科の枠をこえたいろいろな知識に楽しく触れながら、それらを効率的に身につけるやり方など「学習法」についても学びます。適性検査や特色検査に対応する論理的思考力や教科横断型学力を高める問題にもチャレンジします。小5では、やや応用的な内容も扱います。

📌 実施予定テスト・模試内容

▶到達度確認テスト（原則4週毎）
▶模試 学力テスト（年2回）
▶公開学力測定テスト（年1回）

※実施内容は変更になる場合があります。

小6

小学校学習内容の完全マスター！

小学生のうちに身につけたい各教科の学力要素を
確実に習得させるとともに、生徒自身が学習目標を立てて実行する
「自立学習姿勢」を作り上げます。



📌 学習のポイント

算数

小学校で学習する最後の計算方法である分数のかけ算・わり算を学習します。また、割合の1つの表し方として、比と比の値を用いた計算方法も習得し、変化の様子を表やグラフに表しながら中学校進学へ備えます。さらに柱体の体積・表面積を学び、立体図形について量的にとらえられるようになります。

■ 検定試験取得のめやす 数検6級

英語

学習指導要領に完全対応。音声コンテンツやチャンツを使って無理なく楽しく学習し、中学校でも十分使える4技能を習得します。英検®の演習トレーニングを通じて、英検®取得も同時に目指します。

■ 検定試験取得のめやす 英検® 4・5級

📌 授業回数予定

教科	通塾回数	授業分数・回数
算数	週2回	70分 × 週1回
国語		50分 × 週1回
英語		50分 × 週1回
特色Jr.		30分 × 週1回

国語

小6で習う191の学習指導要領配当漢字を習得します。難度の高い文章を読むことで、思考力をより高める指導を行います。また、テストに向けた学習方法を指導し、中学校での学習姿勢の足がかりにします。

■ 検定試験取得のめやす 漢検5級

特色Jr.

理科・社会、さらに教科の枠をこえたいろいろな知識に楽しく触れながら、それらを効率的に身につけるやり方など「学習法」についても学びます。高校入試の特色検査に対応する論理力や教科横断型学力を高める問題にもチャレンジします。進学をふまえ、小6のうちに知っておきたい中学校生活や高校入試の情報なども扱います。

📌 実施予定テスト・模試内容

▶到達度確認テスト（原則4週毎）
▶模試 学力テスト（年2回）
▶公開学力測定テスト（年1回）

※実施内容は変更になる場合があります。

公立中高一貫校対策

小4

小5

小6

毎年合格者を多数輩出、神奈川県内5校の公立中高一貫校受検を熟知した中萬学院で適性検査対策を。長年の指導経験で培った合格学習メソッドと経験豊富なプロ教師による学校別対策指導で志望校合格へと導きます。



公立中高一貫校対策

小4から適性検査突破力を伸ばし高めよう。
未来を切り開く「考える頭」を育てます。

指導教科 | [小4・小5] 英語・算数・国語・特色Jr. + 理系・文系 ※小5の一部スクールは理系・文系専門指導 [小6] 理系・文系

県内
5校に
対応

神奈川県立相模原中等教育
神奈川県立平塚中等教育
横浜市立南高校附属中
横浜市立横浜サイエンスフロンティア高校附属中
川崎市立川崎高校附属中



CG中萬学院対策指導のポイント

CG中萬学院オリジナル教材

神奈川の公立中高一貫校開校当初から対策指導を行い、適性検査問題を知り尽くしているCG中萬学院の教師陣が作ったオリジナル教材を使用します。

要約・意見文添削

適性検査で求められる読解力や記述対応力も、「書く⇒添削⇒書き直し」のサイクルの繰り返しでしっかりと高めます。

公立中高一貫校対策模試

年間を通じて模擬試験を実施します。定期的に習熟度を確認し、その後の学習の指針とします。

志望校別カリキュラム

県立、横浜市立、川崎市立で異なる適性検査問題の特徴を踏まえ、それぞれに必要な力を小4から段階的に高める指導を行います。

オンラインガイダンス

生徒・保護者が一緒になって、学習効果の上がる方法を学ぶ機会や受検意識を高めるモチベーションアップの機会を提供します。

過去問演習

神奈川県だけでなく、全国の公立中高一貫校で出題された適性検査問題演習に取り組み、対応力や得点力を強化します。

保護者説明会・保護者面談

入試情報・学校情報だけでなく、CG中萬学院の指導が目指すものを保護者の皆様と定期的に共有する機会を提供します。

各種特訓で志望校別対応力の強化

志望校別に各種特訓を行い、対応力を強化します。実施する特訓や時期はP15-16のスケジュールをご覧ください。

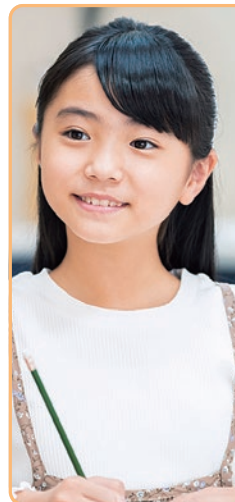
学年別適性検査対策 (P17-18)



「考える力×取り組む力」を伸ばす文系・理系指導

» 公立中高一貫校対策学習を通じて「未来に生きる課題解決力」を養います

適性検査への対応力は、一朝一夕では身につきません。授業内の小テストや到達度確認テストで反復トレーニングと実力確認を繰り返しながら、課題解決に向けた「考える力」とともに「取り組む力」も鍛えます。



- 資料読み取り問題への対策

資料を活用する問題を多く扱い、様々な図やグラフなどの読み取り方やコツなどを丁寧に指導します。

- 文章を正しく読み取る力の養成

様々な文章をもとに、述べられていることを正確に読み取るための方法を丁寧に解説します。

- 求められている答えを的確に表現する力の養成

与えられた資料から読み取った情報をもとに、求められている答えを過不足なく記述できるように、しっかりトレーニングします。

- 学校別に対応した作文力の養成

各学校の適性検査で出題されている作文問題に対応したオリジナル教材を使用し、段階的に記述力をトレーニングします。

文系指導



CG中萬学院
オリジナル
教材



- 資料読み取り問題への対策

複数の資料を読み取ったり活用したりする力をつけるため、様々な図・表・グラフを見て、読み取れることを書くトレーニングをします。

- 算数的な力の養成

適性検査で求められる割合や単位量あたりの大きさなどの数理的な考察力を、繰り返し作業することで身につけます。

- 図形問題への思考力と作業力の養成

気づきにつながる思考力と正解につなげる作業力が求められる適性検査に対応できるよう、各学校で出題された問題を分析し作成したオリジナル教材を用いて力を養成します。

- 理料的な知識と活用力の養成

適性検査に必要な知識の定着を目指し、次に資料を読み取り整理する力のトレーニングをオリジナル教材で行います。そして理由や説明まで意識した解答作成の練習を積んで、知識を活用できる力を養成します。

理系指導



CG中萬学院
オリジナル
教材

模試・特訓等年間スケジュール ※スケジュールは変更になる場合があります。

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月						
小4	春期講座		保護者説明会	適性検査型チャレンジテスト +学習イベント		保護者説明会	夏期講座			適性検査型チャレンジテスト +学習イベント		保護者説明会	冬期講座	適性検査型チャレンジテスト +学習イベント		保護者説明会		
小5	春期講座			算数・作文 プレミアム講座			算数・作文 プレミアム講座 夏期集中特訓		夏期講座 適性検査問題対策講座 模試		算数・作文 プレミアム講座 模試		冬期講座		模試			
小6				県立適性検査問題対策 横浜市立作文対策 川崎市立作文対策			通い合宿特訓		理系特訓 適性検査問題対策講座		県立適性検査問題対策 横浜市立作文対策 川崎市立作文対策		正月特訓					
													横浜市立作文添削講座・川崎市立作文添削講座（6～12月）					
													チャレンジ特訓／適性検査過去問演習（9～1月）					
模試				模試		模試		模試		模試		模試						

思考力と試行力の養成

» 自ら考え、目標に向かって努力し続けられる自立した生徒を育てます

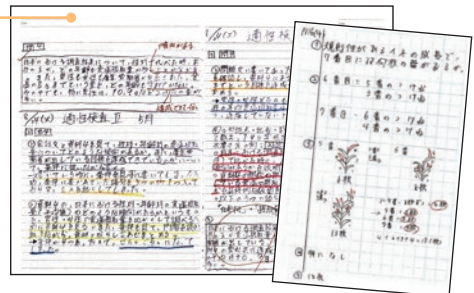
「丁寧に、時間を意識して、集中し、粘り強く考えながら、挑戦し続ける生徒」を目指し、「どうがんばればいいのか」を「学習ノートの作り方」や「目標の立て方」にまでこだわって指導します。

・DLノート・

Deep Learning
Designing Leader

解法記述のDLノート
書き方の流れ&実例

- ①何を答える？
（そのために必要な情報は？）
- ②どこを見る？
- ③何をやる？
- ④条件は？
- ⑤だから、答えはこれ！



・TAG・

To Achieve Goals

未来の目標にたどりつくための「目標の立て方」を学びます。目標到達までに必要な工程を自ら考え、身近な目標に落とし込んでみるなど、一人ひとりが自立して頑張りが続ける方法を見つけるためのサポートを行います。



» 集中講座・特訓による集中学習で適性検査得点力を強化します

長期休暇期間や日曜・祝日を活用した演習中心の講座・特訓を通して実践力を高めます。

以下は一部のご紹介です。実施講座・特訓の詳細はスクールよりご案内します。

算数・作文プレミアム講座	通い合宿特訓	理系特訓	チャレンジ特訓
小5 5・7・10月／年3回	小6 7月	小6 8月	小6 9月～1月
適性検査問題を解くうえで基礎となる算数の計算力と記述力向上のための講座です。作文は、書き方から丁寧に指導し、書き上げた作文の添削と課題のフィードバックにより文章を書く力・まとめる力を養成します。	同じ目標を持った仲間と切磋琢磨する2日間の志望校別対策特訓です。理系・文系とも適性検査頻出の重要単元を学び、志望校別の対策講座も行います。いつもと違う環境・緊張感の中で、受験に向かう意識も高まります。	差がつきやすい理系問題対応力を強化する1日完結特訓です。他の都道府県の適性検査問題にも挑戦しながら、単位量あたりの大きさを活用した数理的考察力や資料を関連づけて読み取る力などを鍛えます。	得点力向上のための志望校別集中特訓です。9月末から受験直前までの約4カ月間で、テーマ別および総合実践問題演習とその解説授業を徹底的に繰り返しながら、確かな得点力を身につけます。

県立相模原・平塚中等教育／横浜市立南・横浜サイエンスフロンティア高附属中／川崎市立川崎高附属中に対応。志望校別適性検査対策

小4

主体的に取り組み、考える力を育てます

文章や資料を読み取って書く力や、算数の頻出単元の学習を通して論理的思考力を養成します。
また、基礎知識を土台とし、考える姿勢づくりや根気強く取り組む姿勢づくりを行います。

初等部の教科学習を通して基礎学力を養成し、対策講座ではグラフや図表、図形や数などの様々な切り口で考えて解く問題等に多く触れながら、適性検査での出題のされ方や取り組み方を学びます。また、家庭学習を無理なく習慣化できるようサポートします。

通常授業 初等部 + 対策講座

通塾回数	初等部 週2回 + 対策講座 週1回
指導教科	初等部 算数70分 国語50分 英語50分 特色Jr. 30分 対策講座60分

模試・イベント

▶到達度確認テスト（単元終了時）
▶CG実力判定テスト（年1回）
▶公開学力測定テスト（年1回）
▶小4適性検査型チャレンジテスト + 学習イベント（年3回）

県立・横浜市立・川崎市立とも実施概要は同一です。地域によって対策対象校・設置コースが異なります。詳細はお問い合わせください。



小5

基礎学力を充実させながら「適性検査」学習を

小学校教科書レベルの知識、確かな計算・表記力、問いに対して的確に考える思考力を育て、基礎学力を引き上げます。適性検査の出題形式にも少しずつ慣れていきます。

文系 | グラフや資料の読み取り方と、記述式問題および作文の基礎的な解答スキルを学びます。

理系 | 頻出単元の要点を確認しながら、図形・規則や教科複合的な適性検査問題に慣れていきます。

模試 公立中高一貫校専門コース

通塾回数	週1回（土曜日通塾） or 週2回（平日通塾）
指導教科	文系・理系 【3月】理系 50 分 文系 50 分 【4月～2月】理系 100 分 文系 100 分

通常授業 初等部 + 対策講座

通塾回数	初等部 週2回 + 対策講座 週1回
指導教科	初等部 算数 70 分 国語 50 分 英語 50 分 特色 Jr. 30 分 対策講座 【3月】50分【4月～2月】100分(理系・文系各50分)

県立・横浜市立・川崎市立とも実施概要は同一です。地域によって対策対象校・設置コースが異なります。詳細はお問い合わせください。

模試 模試「学力テスト」「公開学力測定テスト」は初等部+対策講座のみの実施です。

▶到達度確認テスト（単元終了時）

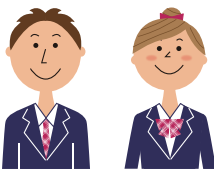
▶中公検模試（年4回）

▶模試 学力テスト（年2回）

▶一貫模試（年1回）

▶公開学力測定テスト（年1回）

※実施内容は変更になる場合があります。



小6

専用コースで文系・理系の学力を伸ばす
各校の検査内容に特化した指導で合格力を磨きます

解答のプロセスで多くの作業を要する適性検査において、試験時間内でいかに得点を積み上げるかがカギとなります。小4・小5の学習内容を踏まえ、より実践的な対策を行います。

通常授業 公立中高一貫校対策コース + 理系特化特別講座

通塾回数	週1回（土曜日通塾） or 週2回（平日通塾） +理系特化特別講座 週1回	理系特化特別講座
指導教科	文系・理系 理系 120 分 文系 120 分 理系特化特別講座 理系 120 分	算数・理科の重要単元の復習を行いながら、算数では応用問題の完成を目標とします。また、9月以降は、総合的な適性検査問題の演習および解説を通して、出題傾向に合った実践的な力を育成します。

県立・横浜市立・川崎市立とも実施概要は同一です。地域によって対策対象校・設置コースが異なります。詳細はお問い合わせください。

模試

▶中公検模試（年6回）

▶一貫模試（年3回）

※実施内容は変更になる場合があります。



県立 相模原・平塚中等教育 | 適性検査Ⅰ・Ⅱ + 作業力・思考力問題対策

文系 | グラフや資料の読み取り方と、記述式問題および作文の基礎的・実践的な解答スキルを学びます。

理系 | 頻出単元の要点を確認しながら、図形・規則や教科複合的な適性検査問題に慣れていきます。

作業力・思考力問題対策
（年複数回）

実際の適性検査問題をもとに作成した作業力・思考力が問われる問題を演習し、県立中等教育の適性検査で頻出される問題の解答力を養成します。

横浜市立 南高・横浜サイエンスフロンティア高附属中 | 適性検査Ⅰ・Ⅱ + 作文対策

文系 | 複雑な手順で解く問題の解法や、説明文の要約および作文作成の方法を習得します。

理系 | 算数・理科の基本事項の定着と、図形や整数の性質、実験・観察などの頻出問題への対応力を育成します。

小6作文添削講座
（年7回）

横浜市の適性検査で見られる、約3,500～4,000字の長文を短くまとめたり自分の意見や考えを記述したりする問題の対策講座です。13～15項目の視点で添削し、コツや意見を分かりやすく書く方法についての助言などを丁寧に行います。

川崎市立 川崎高附属中 | 適性検査Ⅰ・Ⅱ + 作文対策

文系 | 資料の整理と記述の方法や、説明文の読解法と効果的なテーマ作文作成の方法を習得します。

理系 | 算数・理科の基本事項の定着と、図形問題や実験・観察などの問題への対応力と記述力を育成します。

小6作文添削講座
（年7回）

与えられたテーマに対し自分の考えをまとめる力を養成する講座です。15項目の視点で添削し、基本的な作文の書き方からまとめ方のコツや助言までを丁寧に行います。

※令和6年度適性検査の内容次第では、対策内容を変更する場合があります。

中等部

中1

中2

中3

初等部での3年間の学習を土台とした中等部では、中学3年間の6ターム（Ⅰ～Ⅵ期）に分け、時期ごとに最適な指導を行うことで効果的に学力を伸ばします。中1から高校受験を見据え、内申・定期テスト対策、高校入試対策、特色検査対策で得点力を養成し、希望の進路をかなえます。



中等部

CG中萬学院独自の6ターム制指導

綿密な入試分析に基づく

効果的なカリキュラムで学力を最大限に伸ばす

6ターム制指導の流れ

指導教科 英語・数学・国語・理科・社会・特色検査対策

ブレ期

中1:3月

Ⅰ期

中1:4月～8月

Ⅱ期

中1:9月～2月

Ⅲ期

中2:3月～8月

Ⅳ期

中2:9月～2月

Ⅴ期

中3:3月～8月

Ⅵ期

中3:9月～2月

知識のインプット
定期テスト・内申対策

実践問題でのアウトプット
高校入試対策・実力養成



中学生で新たに始まる“英語・数学の基礎固め”を重視

中学生から新たに始まる英語・数学は、初期段階での基礎固めが3年間の学力養成に大きな影響を与えるといっても過言ではない重要な教科です。まずは、英語・数学を重点的に徹底指導することで、英語・数学の土台をしっかりと固め、得意科目にします。



3年間の学力向上のカギとなる“学習スタイルの早期確立”をサポート

学力向上において、プロ教師による質の高い指導が重要なのはもちろん、学んだことを身につける効率的かつ効果的な反復学習が必要不可欠。短い時間で効率的に、確実に知識が身につく得点力につながる効果的な学習スタイルを早期に確立させます。



多くの生徒にとって壁となる“勉強と部活の両立”の徹底支援

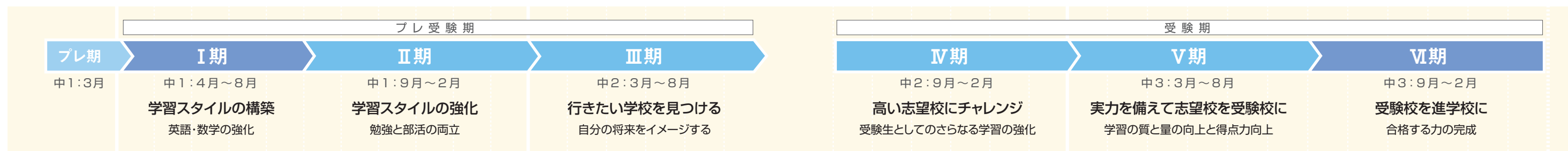
中学2年生くらいになると多くの生徒の悩みとなる“勉強と部活の両立”。どちらかではなく、両方とも全力を注ぐために、さなる式タブレットなどのICTを活用して、忙しい中でも勉強時間をしっかり確保できるよう徹底支援します。



志望校が受験校、そして進学校に！高い目標を見据えた入試対策指導

「行ける学校ではなく、行きたい学校へ」CG中萬学院のすべての指導は、この考えに基づいています。行きたい学校に合格するために、綿密な入試分析に基づいた無駄の一切ない効果的なカリキュラムで学力を最大限に伸ばします。

中学校3年間で学力を最大限に引き出すCG中萬学院の6ターム制指導の流れ



定期テスト・内申対策 高内申獲得で希望の進路をかなえる

学校ではテストの得点だけでなく、授業での取り組み、ノートや発表など学習活動全般を通した評価が行われます。テストへの対応はもちろん、生徒一人ひとりの目標に向かう力を育て、主体的に学習に取り組む姿勢づくりを含めた内申対策を行います。

START ▶▶ 中学校別に定期テストの約2週間前から対策授業をスタート！

ガイダンス

前回の定期テストの振り返りと、今回のテストの目標設定を行います。目標に向けて「どうしたら達成できるか」を一緒に考え、勉強方法や学習計画を確認してから定期テスト対策がスタートします。

学校別定期テスト対策授業

定期テスト対策期間中は土曜・日曜を使って授業時間を拡大。出題範囲や問題傾向に合わせて中学校別に対策授業を実施します。
また、教科書以外からの出題や高校入試を意識した応用問題など、近年の定期テストの傾向でもある実力問題に対応する実力養成も同時に行います。

対策 STEP1

まずは、出題範囲の単元を授業で総復習。必要な知識を確認して、定着をはかります。

対策 STEP2

過去に出題された問題の類似問題を徹底演習。出題傾向を知り、基礎得点力を養成します。

対策 STEP3

難度の高い応用問題や高校入試を意識した実力問題も徹底対策。高得点獲得の実力養成をはかります。

技能4教科対策

中萬学院の定期テスト対策は9教科。技能4教科の対策も時間割に組み込まれ、対策教材も充実しているので安心です。

CG学習ダイアリー

計画的に学習を進めるために開発されたCG学習ダイアリー。目標点獲得に向けて、しっかり学習時間を確保します。

自習スペース活用

「集中して勉強したい」「分からないところを先生に質問したい」そんな要望に応じて、スクールの教室・自習室を開放しています。

さなる式タブレット

最新のICTで学習をバッチリサポート。忙しい中学生の学習を強気にサポートし、高得点獲得をかなえます。

プレテスト

中学校別の問題分析をもとに作成したオリジナルの定期テスト予想問題で総仕上げ。苦手単元やミスしやすい問題を把握して徹底演習することで、自信をもってテスト本番を迎えることができます。

テスト本番直前対策

定期テスト期間中は、翌日のテスト科目を集中的に学習できるように対策授業、もしくは自習スペースの開放を行い、最後の最後までしっかりサポートします。



GOAL ▶▶ 返却された答案を解き直し、しっかり自己分析をして、次のテストに向けてリスタート！

特色検査対策 基礎学力から知識の活用力・思考力を鍛える

学力向上進学重点校および同エントリー校の入試で、5教科の学力検査に加えて行われる特色検査（筆記型の自己表現検査）。特色検査で問われる読解力、論理的思考力、空間認識能力、作業力などの力は、5教科の学力養成にはもちろん、将来を自ら切り開いていく上でも必要不可欠です。CG中萬学院ではII期（中1の9月）から将来を見据え、これらの重要な力を育んでいきます。

知識量の増加に合わせた段階的な対策で総合的な学力を鍛える

小4～小6

特色Jr.

初等部から中等部の特色検査対策につながる土台づくりを行います
▶詳細はP.9へ

読解力養成期

II期

全ての学習の土台となる読解力を育成します。文章や資料を正しく読み取り、理解し記述するトレーニングを行います。
※I期は英語・数学を重点的に学習するため特色検査対策は実施しません。

論理的思考力養成期

III期

文章読解力やグラフの読解力を測る問題に対策します。複数の資料を照らし合わせて考える問題などを題材に、作業力と集中力を身につけます。

IV期

思考判断力・空間認識力を測る問題に対策します。図形パズルや論理パズルの問題を題材に、その解法を身につけると共に、粘り強く問題に取り組む姿勢を身につけます。

実力養成期

V期

入試問題の中から、その時期に合った難度の問題を扱います。英文読解や、複数の資料を照らし合わせる問題など様々な問題に触れ、今までの学習を完成させるフェーズに入ります。

VI期

《特色検査実施校を志望する生徒のみ授業外実施》
特色検査の60分間の使い方を習得します。また、高い難度の問題を扱うことで、難問に向かう胆力もつけていき、入試当日に必要な答案作成力を完成させます。

充実の 模試・特訓

特色検査対策模試

実際の入試の出題を想定した模試を実施し、志望校合格に必要な得点力を測ります。（神奈川全県模試と同時実施）

過去問演習指導／予想問題演習指導

VI期からは特色検査実施校を志望する生徒を対象に、学校別のさらに実践的な演習を行い、合格力を完成させます。

各種特色検査対策特訓・講座

III期の8月から始まる各種特訓・講座では、より実践的な学習で空間認識力・論理的思考力・長文読解力を体系的に学習し、特色検査での得点力を伸ばします。

詳細は各期ページへ (P23～) →

I期

中1 (4月～8月)

土台が重要となる英語・数学を徹底的に学習し、得意をつくる



- 中学生のスタートで、英語と数学を重点的に学習して得意教科にする
- 新たな学習スタイルを早期に確立し、効果的な学習の仕方を身につける
- 地域の中学校にあわせて、定期テスト・単元テスト対策はタブレットを活用しながら5教科実施

授業回数予定

※選択制

教科	通塾回数	授業分数・回数
英語	週2回	50分 × 3回
数学		50分 × 3回
国語※	週1回	50分 × 1回
理科※		50分 × 1回
社会※		50分 × 1回

- 他、小学6年生の3月はブレ期として英語・数学の授業を行います。

模試

- ▶模試 学力テスト (3月～4月・7月)
- ▶神奈川全県模試 (8月)

特訓

- ▶英数集中特訓 (7月)

※実施内容は変更になる場合があります。

II期

中1 (9月～2月)

部活と勉強を両立するために学習サイクルを進化させる



- 生活リズムが安定してくる夏以降から、タブレットを活用した知識のインプットと授業による演習、実力養成の学習サイクルを強化し、さらに効率よく、効果的な学習を行う
- 特色検査攻略に向けて、まずは土台となる読解力を育成する

授業回数予定

教科	通塾回数	授業分数・回数
英語	週3回	50分 × 週2回
数学		50分 × 週2回
国語		50分 × 週2回
理科		50分 × 週1回
社会		50分 × 週1回
特色		50分 × 週1回

模試

- ▶模試 学力テスト (1月)

特訓

- ▶英数年末特訓 (12月)

※実施内容は変更になる場合があります。

I期・II期の学習のポイント

英語	数学	国語
小学校での学習を基盤に、be動詞や一般動詞などの単元を通じて英文の仕組みの理解を深め、英語学習の土台を固めていきます。そのうえで、複数形・3人称単数現在形・疑問詞を使った疑問文・現在進行形・過去形など、中1で求められる内容が無理なく理解できるよう単元を丁寧に積み重ねていきます。	正負の数、文字式、方程式といった数学の基盤となる計算分野を深く理解し、盤石な計算力を身につけます。後半では小学校で既習単元である比例・反比例、平面図形、空間図形などの単元を中学数学レベルに引き上げます。中1での学習状況で今後が大きく左右されますので、基礎の徹底をはかっていきます。	基本となる文章の読み方から定期試験の勉強方法まで丁寧に指導し、中1の学習を無理なく確実に進めていきます。また、文章の読解では言葉の意味にこだわった指導を行い、小学生のときよりも一歩進んだ「言葉の力」を養成し、中学生の土台を形成していきます。
理科	社会	特色検査対策 ※II期からスタート
「植物や動物の生活と種類」「光・音・力による現象」「身のまわりの物質」「大地の変化」の4単元を学習します。実験や観察の結果から法則を導く、知識はその理由まで理解するなど、科学的な考え方を大事にして、知識とその活用、教科への関心を高め、高校入試とその先につながる学力を育てます。	社会は「暗記教科ではなく理解教科」。中1から学習を始める意義はここにあると考えます。知識を詰め込むのではなく、地理分野では世界地理の指導を通じ、「地形や気候」と結びつけて考える、歴史分野では古代史から中世史の指導を通じ、できごとの「因果関係と歴史上の位置づけ」を考える姿勢を育てます。	II期(中1の9月)から、全ての学習の土台となる読解力を育成します。実際に特色検査でよく出題される、資料を正確に読み取る問題を扱いながら、高い水準の読解力を身につけることが目標です。また、論理クイズを扱うことで、一朝一夕では身につかない論理的思考力も鍛えます。

得点力向上のための特訓講座

英数集中特訓 (7月・12月実施)

英語・数学の重要単元を1～2日間で総復習し、さらなる理解・定着を図ります。また、定期テスト対策として、実践演習を行い、得点力向上につなげます。特訓形式で集中的な学習機会を設けることで、学習量を増やすだけでなく、学習モチベーションの維持にも役立ちます。

オンライン英検特訓 (5月・9月・1月実施)

CG中萬学院では、中3で英検準2級の取得を目指したカリキュラム指導を行っています。英検を目指す方には、オンライン形式の特訓講座を用意。英検2級・準2級・3級を対象としています。また、2次試験の面接式スピーキングテストの対策も対応し、資格取得をバックアップします。



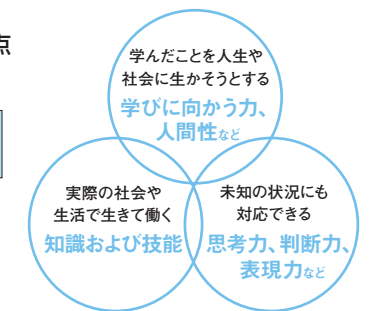
中学校での成績のつき方

～学力の3要素にしたがって5段階で評価をつけています～

- ≫ 新しい時代を生きる子どもたちに必要な資質・能力の3つの柱、評価の観点
右記のような要素が求められているため以下の3つの観点で評価が行われます。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
-------	----------	---------------

「感性、思いやり」など観点別学習状況の評価や評定で示きれない生徒一人ひとりのよい点や可能性、進歩の状況については個人内評価が行われます。



- ≫ 観点別学習状況の評価と評定の算出方法

1. 各教科、指導の単元ごとに総括され、観点別の到達状況がA⁺～C⁻の評価で決まります。

観点別評価と達成状況		合計点の満点に対する割合(%)の目安 ～ある中学校での一例～	
● 十分満足できると判断されるもののうち、特に程度の高いもの: A ⁺	A ⁺	約90%以上	
● 十分満足できると判断されるもの: A	A	約80%以上90%未満	
● おおむね満足できると判断されるもの: B	B	約50%以上80%未満	
● 努力を要すると判断されるもの: C ⁺	C ⁺	約20%以上50%未満	
● 一層努力を要すると判断されるもの: C	C	約20%未満	

2. 各教科の評価は数値化され、5段階で評定がつけられます。

① 観点別学習状況の評価結果を点数化します					② 3つの観点の合計点が評定となります				
A ⁺	A	B	C ⁺	C	15・14点	13・11点	10・8点	7・5点	4・3点
5点	4点	3点	2点	1点	5	4	3	2	1

評定と組み合わせの例(合計点)	
5	● A ⁺ A ⁺ A ⁺ (15点) ● A ⁺ A ⁺ A (14点) など
4	● A ⁺ A ⁺ B (13点) ● AAA (12点) など
3	● ABB (10点) ● BBB (9点) など

Ⅲ期

中2（3月～8月）

受験生になる準備。

将来を見据え、目標校を明確に

- 将来の自分を考え、目指す方向性を定めながら高校の選択を始める
- 志望校判定模試を通じて、目指す高校までの距離を測り、学習スタイルをブラッシュアップする
- 特色検査対策として、Ⅱ期で習得した読解力の土台を固め、論理的思考を身につける

授業回数予定

教科	通塾回数	授業分数・回数
英語	週3回	50分 × 週2回
数学		50分 × 週2回
国語		50分 × 週2回
理科		50分 × 週1回
社会		50分 × 週1回
特色		50分 × 週1回

模試

- ▶ 模試 学力テスト（3月～4月・7月）
- ▶ 神奈川全県模試および 特色検査対策模試*（8月）

特訓

- ▶ 英数集中特訓（4月または5月・7月）
- ▶ 夏期特色検査対策講座*（8月）

※特色検査対策模試・講座は申込制です。 ※実施内容は変更になる場合があります。

Ⅳ期

中2（9月～2月）

受験生として勉強も部活も

どちらも全力で突き進む

- 高校入試で重要となる中2学年末内申向上に向けて、勉強と部活を両立する学習スタイルを深化させ、効率的なインプットとアウトプットで得点力を強化する
- 特色検査対策特訓をスタートさせ、パターントレーニングに加え、入試問題に挑戦して実践を積む

授業回数予定

教科	通塾回数	授業分数・回数
英語	週3回	50分 × 週2回
数学		50分 × 週2回
国語		50分 × 週2回
理科		50分 × 週1回
社会		50分 × 週1回
特色		50分 × 週1回

模試

- ▶ 模試 学力テスト（1月）

特訓

- ▶ 英数年末特訓（12月）
- ▶ 特色検査対策特訓*（9～10月）

※特色検査対策模試・特訓は申込制です。 ※実施内容は変更になる場合があります。

Ⅲ期・Ⅳ期の学習のポイント

英語	数学	国語
中1で学習した内容をもとに、さらに表現の幅を広げていきます。時制・助動詞などでは、中1の内容をより深く、より広い理解を目指し、不定詞や比較などの単元では、英文の骨格を見抜く力とともに、入試に欠かせない読解力も同時に育成していきます。	中1で培った学習内容をさらに深化させていきます。文字式、連立方程式と計算分野はもちろんのこと、1次関数と図形問題との融合では受験に必要な応用力を身につけていきます。また初めてふれる図形の証明問題や確率などの分野もあり学習レベルの大幅アップに先手に対応していきます。	多種多様な文章を言葉の意味にこだわって読み解き、その内容を短い言葉でまとめたり、要旨を記述するトレーニングを徹底して行います。また、十分な演習量を通じて問題の解法を自らの力で記述できるように指導し、高校受験に向けた実力の養成をはかっていきます。
理科	社会	特色検査対策
「生物の体のつくりとはたらき」「化学変化と原子・分子」「電流とその利用」「天気の変化」の4単元を学習します。実験や観察の結果から法則を導く、知識はその理由まで理解するなど、科学的な考え方を大事にして、知識とその活用力、教科への関心を高め、高校入試とその先につながる学力を育てます。	「社会は暗記教科ではなく理解教科」という考えのもと、地理分野では日本の地域的特色と諸地域を、歴史分野では近世から近代の歴史を学習します。「地形や気候」と結びつけて考える姿勢、できごとの「因果関係と歴史上の位置づけ」を考える姿勢を定着させるとともに、各分野の知識を融合させて考える力を養います。	応用・活用の問題を解くために必要となる論理的思考力を育成します。特色検査でよく出題される、資料活用の問題やパズルの問題を通して、論理的思考あるいは試行のトレーニングを行います。初めて見る問題にも果敢に挑戦できる応用力を身につけることが目標です。

得点力向上のための特訓講座

英数集中特訓（4月または5月・7月・12月実施）

英語・数学の重要単元を1～2日間で総復習し、さらなる理解・定着を図ります。また、定期テスト・入試対策として、実践演習を行い、得点力向上につなげます。特訓形式で集中的な学習機会を設けることで、学習量を増やすだけでなく、学習モチベーションの維持にも役立ちます。

オンライン英検特訓（5月・9月・1月実施）

CG中萬学院では、中3で英検準2級の取得を目指したカリキュラム指導を行っています。英検を目指す方には、オンライン形式の特訓講座を用意。英検2級・準2級・3級を対象としています。また、2次試験の面接式スピーキングテストの対策も対応し、資格取得をバックアップします。

Ⅲ期 Ⅳ期 特色検査対策の特訓講座

夏期特色検査対策講座（夏期講習期間中に実施）

全ての教科の土台となる論理力を鍛えます。さらに空間認識や、英文からの教科横断型設問にも触れ、いち早く実践的な特色検査の形式にも慣れていきます。

特色検査対策特訓（9～10月の期間中 全3回）

特色検査に求められる力をパターン別にトレーニングします。早い段階で特色検査の内容に触れ、中3進級時にアドバンテージをもてるように力を養います。また、入試問題にも挑戦し、志望校合格に向けて早めにスタートを切ります。

特色検査対策模試

Ⅲ期（中2）から、志望校に応じて特色検査対策模試を実施します。各高校の選考基準に応じた精度の高い合格判定、および神奈川県入試に特化した問題による答案分析で志望校合格を実現するための指導計画を策定します。



V期

中3（3月～8月）

学習の質と量を向上させ 志望校を受験校にする

- 5教科の学習強化と特色検査対策を通じて、ねばり強く正答を導き出す力を鍛える
- 各種特訓講座、夏期通い合宿特訓などを活用し、学習量を大幅に増加させる
- 特色検査対策は出題パターン別のトレーニングで解法スキルに磨きをかける

授業回数予定

教科	通塾回数	授業分数・回数
英語	週3回	50分 × 週2回
数学		50分 × 週2回
国語		50分 × 週2回
理科		50分 × 週1回
社会		50分 × 週1回
特色		50分 × 週1回

模試

- ▶ 神奈川全県模試および 特色検査対策模試*（5月・7月・8月）
- ▶ 神奈川全県チャレンジ（3月）

特訓

- ▶ 英数集中特訓（4月または5月）
- ▶ 夏期通い合宿特訓（8月）
- ▶ 夏期特色検査対策講座*（8月）

※特色検査対策模試・講座は申込制です。 ※実施内容は変更になる場合があります。

VI期

中3（9月～2月）

高い志望校を目指し、積み上げた 思考力・判断力を得点力に変える

- 理科・社会の学習量を増やし、入試得点力を飛躍的に伸ばす
- 志望校合格に必要な入試目標得点獲得に向けて、課題や弱点に向き合い克服する
- 志望校別対策や一人ひとりに合わせたきめ細かな指導で、志望校合格をかなえる

授業回数予定

教科	通塾回数	授業分数・回数
英語	週3回	50分 × 週2回
数学		50分 × 週2回
国語		50分 × 週1回
理科		50分 × 週2回
社会		50分 × 週2回
入試対策特別授業		特別時間割で特色検査対策講座または復習講座 1コマ70分計32回(週あたり換算計110分)

模試

- ▶ 神奈川全県模試および 特色検査対策模試*（9月・10月・12月・1月）

特訓

- ▶ 特色検査対策特訓*（9～10月）
- ▶ パーフェクト特訓（11月～2月）
- ▶ 年末年始特訓（12月～1月）

※特色検査対策模試・特訓は申込制です。 ※実施内容は変更になる場合があります。

V期・VI期の学習のポイント

英語	数学	国語
中2までで学習した英文の構造理解をさらに深め、関係代名詞や仮定法などの入試にも必要な単元をマスターしていきます。入試問題を中心に、幅広いジャンルの問題に多数触れることで、ここまでの復習や長文読解・英作文にも対応できる力をつけます。	展開・因数分解を皮切りに、新しい考え方で生まれる平方根を使っての計算のマスター、その上で到達する二次方程式の計算とこれまで培ってきた学習内容が集約します。関数と図形との融合問題や相似・三平方の定理などの図形関連の学習も多く、高校受験に完全対応できるカリキュラムで進めていきます。	文学的文章、論理的文章、韻文、古典など様々な文章の読解演習を通じて、解法の完全習得と文章を読み取る力が向上する指導を行います。また、漢字や言語・文法知識は定期的に復習し、後期では公立入試に即した出題形式の問題を収録したオリジナル教材を使用して高校受験の対策を丁寧に行っていきます。
理科	社会	特色検査対策
「生命のつながり」「運動とエネルギー」「イオン」「地球と宇宙」「環境」の5単元を学習します。実験結果から法則を導く、知識はその理由まで理解するなど、科学的な考え方を大事にし、入試とその先につながる学力を育てます。10月までに全単元の学習を終え、11月中旬以降は総復習と総合演習となります。	歴史分野の最終盤、かつ入試頻出範囲である近現代史から学習をスタートします。4月から公民分野に入り、政治・経済の事象の「しくみと効果」を学習します。全単元の学習が終了する10月以降は総復習に入り、知識の整理と入試の難度変化にも負けない汎用性のある解法指導を行います。	IV期に続いてさらに高い水準の読解力と論理的思考力を育成します。夏の特訓では、特色検査入試過去問を使用して、特色検査に必要な力を体感し、その基礎スキルを身につけます。秋の特訓では、パターン別のトレーニングで解法スキルに磨きをかけ、11月以降は総合問題により答案作成力を育成します。

得点力向上のための特訓講座

英数集中特訓（4月または5月実施）

英語・数学の重要単元を1～2日間で総復習し、さらなる理解・定着を図ります。また、定期テスト・模試対策として、実践演習を行い、得点力向上につなげます。特訓形式で集中的な学習機会を設けることで、学習量を増やすだけでなく、学習モチベーションの維持にも役立てます。

パーフェクト特訓（11月～2月実施）

最新の入試出題傾向を踏まえた予想問題演習と、解説授業で志望校合格に向けて得点力を強化します。入試だったら何点取れたはずかという予想得点も毎回計算してもらえます。学力検査本番と同様の形式で行う合格判定実施回もあります。

夏期通い合宿特訓（8月実施）

CG中萬学院の夏の名物「夏期合宿特訓」を会場スクールで。英語・数学・国語の3教科について、これまでに習ったことを入試の得点源に変えることができるように、濃密な3日間を用意しています。先輩の多くは自信や集中力がついたと好評で、受験生としての未来が変わる特訓です。

年末年始特訓（12月～1月実施）

入試で差のつきやすい5教科の単元学習を年末年始4日間で集中的に行います。入試本番に向けて各教科の重要単元を総復習し、得点源にしていきます。

V期VI期特色検査対策の特訓講座

夏期特色検査対策講座（夏期講習期間中に実施）

特色検査対策を本格始動するための特訓です。入試問題を用いて実践力を強化します。読解や資料読み取りの訓練、理数の活用問題で5科の教科力アップも同時に目指します。

パーフェクト特訓（11月～2月実施）※上記パーフェクト特訓と同時実施

筆記型の特色検査に共通する、教科横断型・適性検査型の入試予想問題を演習します。特色検査において極めて重要なタイムマネジメントの習得も目指します。

特色検査対策特訓（9～10月の期間中 全3回）

テーマ別の実践問題に数多く触れ、解法スキルを学びます。また、総合問題形式の演習・解説を行い、答案作成力を身につけ、特色検査突破力を養います。

過去問演習指導／予想問題演習指導（授業外実施）

夏の特訓では1問1問を学習しますが、入試直前期には、総合問題として過去問の演習と解説を行います。タイムマネジメントのトレーニングと、解法の再確認を行い、その定着を図ります。

公立中高一貫校受検準備 基礎学力養成に最適

能力開発講座

- 玉井式国語的算数教室
- プロクラ
- パズル道場

玉井式国語的算数教室

小1～小3対象

オリジナルの映像とテキストで、読解力と算数的思考力を伸ばします。

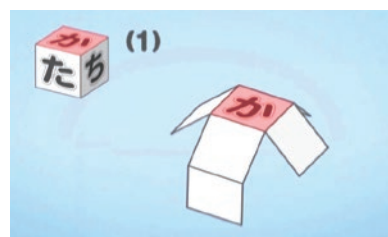
- 映像教材がイメージのより深い理解を促します**
子どもたちはストーリー展開のアニメーション映像を見て、そこから出題される文章問題に答えながらテキストを進めていきます。物語を映像で疑似体験しながら解決方法を考えていくので、算数の考え方や答えの導き方を自然と身につけることができます。
- 無理なく自然に長文読解力が身につきます**
カリキュラムが進むにつれてアニメーションは少しずつ減り、文字だけで学ぶことが中心になります。自分で文章を読んで解く回数を段階的に増やすことで、活字への抵抗感をなくし、無理なく自然に一人で読み解く力(国語力)を身につけます。
- 自分で解き方を導き出す思考力を養います**
「問題を徹底して考える」→「自ら式や図を書いて試行錯誤する」というプロセスを何度も繰り返します。公式や解き方をただ覚えるのではなく、自分の頭で徹底して問題の意味を考えて答えを導き出すことで、イメージング力と算数的思考力が鍛えられます。
- 映像教材で図形を直観的に理解する力も育てます**
豊富なアニメーション教材によって、図形を頭の中でイメージ化するイメージング力を鍛えます。紙のテキストでは捉えにくい立体図形も、映像を見ながら直感的に理解することで空間認識能力を育てます。



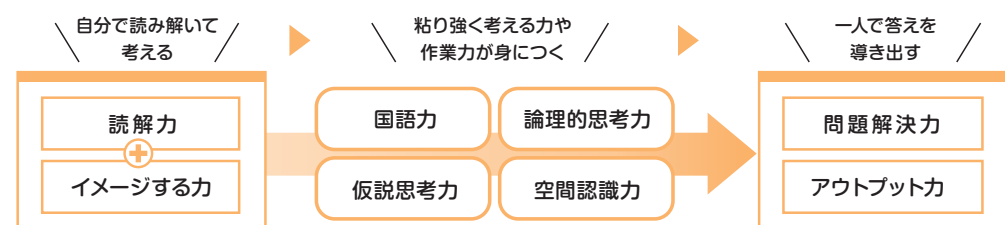
● 楽しいキャラクターが登場する魅力的な物語



● 映像と連動したオリジナルテキスト



● 図形問題への対応力も養います



公立中高一貫校適性検査や高校入試その先にもつながる力を育てます



詳細は玉井式国語的算数教室のリーフレットをご覧ください。
授業見学・体験実施中! ホームページはこちらから



公立中高一貫校対策学習スタート前の準備にも最適です

制限時間に対して問題量が多い適性検査問題に対応するためには、文章読解力や算数的思考力、また粘り強く取り組む姿勢が必要です。一朝一夕では身につかないこれらの力を小学1年生からじっくりと伸ばし高めます。

プロクラ 創造性と表現力を育むプログラミング教室

小1～小6対象

論理的思考・創造性・表現力を伸ばし、試行錯誤する力を身につけます。

- 小学生に人気の「マイクラフト」の世界で学ぶプログラミング**
マイクラフトの世界で学ぶことができるプログラミング教室。ICT教育のプロフェッショナル監修によるテキストと、「楽しいが学びになる」を体現した授業で段階的に知識を積み上げます。プログラミング知識の暗記ではなく、得た知識の活用、応用まで本格的に学べる独自のカリキュラムで思考力を高めます。
- 「創る」だけでなく「伝える」楽しさも大切にしています**
作品を作っておしまいではなく、作ろうと思った理由や工夫したことなどをクラスのお友だちの前で発表する機会を設けています。他の人に伝えることで、共感や協力、さらに新しいアイデアが生まれ、選択肢や可能性が広がります。

基礎コース



パソコン操作と順次処理によるプログラミングを学びます。Try&Errorをたくさん経験します。

初級コース



プログラミングの要素と設定された目標達成に向けてどのように課題を解決するかの「考え方」を学びます。

初級コース修了後は中級コースへ



詳細はプロクラのリーフレットをご覧ください。
授業見学・体験実施中! ホームページはこちらから



パズル道場DX 算数思考力育成講座

小1～小6対象

論理的思考、着眼、推理、分析能力、ねばり強さを育成します。

- 「覚える人」になる前に「考える人」になろう**
パズル道場は、知識を習得させながら、センス(感覚)・思考力を同時に育成するプログラム。自分の頭の中で考えぬくことで算数力・思考力・粘り強さをぐくむ道場です。算数の学力はもちろんのこと、本当に有用な“将来伸びる力”を身につけます。長く続けられれば続けるほど、より効果があります。
- モチベーションを高める進級式プログラム**
進級式のプログラムで小さな目標を達成しながら、力を伸ばすことができます。教室での授業の他に、家庭では動画による復習やWeb検定試験が受けられます。

パズル道場で鍛えられる3つの思考力

仮説思考力

仮説と検証を繰り返す試行錯誤により自分の作戦を考える能力です。

空間思考力

空間認識能力ともいいます。目の前に無い物をイメージする能力です。

瞬間思考力

瞬間判断力ともいいます。この能力を身に付けるには、必ず注意力育成とセットでなければなりません。

+

算数のセンス育成

量感トレーニング

数を量としてイメージする分解・合成トレーニングです。



啓明館全スクールで開講。
詳細はお問い合わせください。
授業見学・体験実施中! ホームページはこちらから



SANARU NETWORK

広がるさなるグループ
全国へ、そして海外へ



佐鳴予備校 Main Office



東京総本社



名古屋本社



浜松本社



御茶ノ水教育研究所

中萬学院教場 神奈川県

難関中学受験（集団指導）

鶴見スクール	久里浜スクール
横浜駅東口スクール	逗子スクール
根岸スクール	藤沢スクール
本牧スクール	辻堂スクール
保土ヶ谷スクール	平塚スクール
二俣川スクール	小田原スクール
上永谷スクール	新川崎スクール (2024年2月開校)
港南台スクール	



公立中高一貫校受験・高校受験（集団指導）

川崎東口スクール	二俣川スクール	港南台スクール	辻堂スクール	大雄山スクール
仲町台スクール	三ツ境スクール	洋光台スクール	茅ヶ崎スクール	秦野スクール
菊名スクール	緑園都市スクール	能見台スクール	平塚スクール	伊勢原スクール
根岸スクール	中田スクール	金沢文庫スクール	平塚中原スクール	愛甲石田スクール
本牧スクール	戸塚スクール	北久里浜スクール	平塚旭スクール	海老名スクール
山手スクール	本郷台スクール	久里浜スクール	平塚南スクール	相模大野スクール
保土ヶ谷スクール	上永谷スクール	逗子スクール	大磯スクール	淵野辺スクール
鶴ヶ峰スクール	上大岡スクール	藤沢スクール	小田原スクール	

個別指導（中学受験・高校受験・大学受験）

川崎東口校	横浜本部校	洋光台校	藤沢校	愛甲石田校
溝ノ口校	保土ヶ谷校	新杉田校	湘南台校	本厚木校
仲町台校	二俣川校	能見台校	辻堂校	海老名校
鴨居校	三ツ境校	金沢文庫校	茅ヶ崎校	鶴間校
大倉山校	戸塚校	横須賀中央校	平塚校	相模大野校
大口校	上永谷校	久里浜校	小田原校	相模原校
鶴見校	上大岡校	逗子校	秦野校	
磯子校	港南台校	鎌倉校	伊勢原校	

2023年12月時点の本部・校舎編成です。予定であり、校舎や開講内容は一部変更になる可能性があります。
※各校舎の地図は、WEBサイトをご覧ください。

安心して通塾していただける 仕組みがあります

生徒・保護者・教師の連携体制

個別面談

中萬学院では、お子様の成長の時期に合わせて、定期的に個別面談を行っております。

学年が進むにつれて、学習や進路についての悩みも変わって行きます。個別面談では、ご家庭のご要望を伺いながら、お子様一人ひとりの成長や学習状況に合わせた学習指導についてお話しさせていただきます。また、ご希望の方は時期を問わずいつでも個別面談を承ります。学習や進路以外のこともぜひお気軽にご相談ください。



安心・安全な通学を支える、中萬学院のサポートシステム

サナネット（在籍生）

サナネットはご家庭のパソコンやスマートフォンを使ってアクセスできる総合教育情報ネットワークです。お子様の通塾上の安全確保のため、遅刻、欠席の際は事前にサナネットでの連絡をお願いしています。連絡がない場合はスクールから確認のお電話をいたします。

サナネットでは欠席連絡ばかりでなく、教師への連絡、相談をメールでやりとりできるメール機能や、スクールの行事確認、イベント申込などもサナネット上で可能です。教師と保護者が双方向にやりとりすることで、安心して通いやすい通塾環境を整えます。

登下校通知メール

スクール内で、小学生はICカード、中学生はタブレット（無償貸与）を操作することにより、あらかじめご登録いただいた保護者の方のメールアドレスに、登校・下校をお知らせするメールが届きます。お子様が登校、下校したことが確認できて安心です。

防犯対策

教室出入口には、監視カメラが設置されています。近隣警察署との連携をはかり、防犯対策に努めています。



保護者の方へご協力をお願い

欠席時のご連絡

お子様の通塾上の安全確保のため、遅刻・欠席の際はサナネットもしくは電話にて事前に保護者の方からのご連絡をお願いいたします。

●電話受付時間 / 午前11時30分～午後7時30分（日・祝日を除く）

保護者の方のご意見をお聞かせください

中萬学院では、生徒保護者の方によりよい教育サービスを提供するために中萬学院総合案内に「父母の声係」を設置しています。お気づきの点がありましたら何なりとご相談ください。

●父母の声係
受付時間 / 午前11時30分～午後7時30分（日・祝日を除く）

☎ 045-840-1701

お申し込み・お問い合わせ先
中萬学院お問い合わせ窓口



045-840-1726

電話受付時間：
午前11時30分～午後7時30分
（日・祝日を除く）